

厚生年金保険・国民年金事業の概況 (平成 26 年 8 月現在)

1. 総括

(1) 適用状況

- 平成26年8月末の国民年金と厚生年金保険の被保険者数は、6,280万人であり、前年同月に比べて、18万人（0.3%）減少している。

表 1 制度別適用状況

	事業所数	被保険者数(人)			標準報酬月額 の平均 (円)
		総数	男子	女子	
厚生年金保険	1,831,860	35,979,825	22,944,570	13,035,255	305,455
船員以外	1,827,385	35,926,169	22,890,914	13,035,255	305,341
一般男子	・	22,890,299	22,890,299	・	346,444
女子	・	13,035,255	・	13,035,255	233,161
坑内員	・	615	615	・	338,953
船員	4,475	53,656	53,656	・	382,078
国民年金	・	26,824,505	9,054,920	17,769,585	・
第1号	・	17,169,260	8,858,689	8,310,571	・
任意加入	・	252,205	85,205	167,000	・
第3号	・	9,403,040	111,026	9,292,014	・
合計	・	62,804,330	31,999,490	30,804,840	・
人口	・	127,040,000	61,770,000	65,270,000	・
うち20～59歳	・	62,830,000	31,760,000	31,080,000	・
共済組合（平成 25 年 3 月末）	・	4,398,712	2,791,849	1,606,863	・

注 1. 厚生年金保険の被保険者のうち、坑内員及び船員は全員男子とみなした。

2. 人口は翌月 1 日現在の推計人口(総務省統計局)である。

(2) 給付状況

- 平成26年8月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者数（同一の年金種別を除く延人数）は、4,317万人であり、前年同月に比べて、33万人（0.8%）増加している。

表 2 制度別年金受給者数

(単位：人)

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	32,469,148	14,428,586	12,465,733	398,843	5,138,530	37,456
旧共済組合を除く	31,939,863	14,107,374	12,377,719	394,850	5,023,388	36,532
旧 法	1,855,719	737,608	602,895	47,317	432,119	35,780
新 法	30,046,699	13,352,864	11,771,811	346,076	4,575,948	・
(再掲) 基礎あり	20,856,130	11,106,961	9,450,140	226,950	72,079	・
基礎または定額あり	21,983,896	11,670,956	10,312,940	・	・	・
基礎繰上げあり	1,751,250	440,079	1,311,171	・	・	・
基礎繰上げなし	20,232,646	11,230,877	9,001,769	・	・	・
基礎及び定額なし	3,140,779	1,681,908	1,458,871	・	・	・
船員保険(旧法)	37,445	16,902	3,013	1,457	15,321	752
旧共済組合計	529,285	321,212	88,014	3,993	115,142	924
旧 法	188,768	143,667	5,801	1,706	36,670	924
新 法	340,517	177,545	82,213	2,287	78,472	・
(再掲) 基礎あり	252,520	174,016	76,547	1,867	90	・
国民年金 計	31,809,699	29,136,388	762,161	1,812,128	99,022	・
旧法拠出制	1,997,141	1,155,575	762,161	64,027	15,378	・
新法基礎年金	29,812,558	27,980,813	・	1,748,101	83,644	・
(再掲) 基礎のみ	8,137,565	6,616,977	・	1,495,844	24,744	・
福祉年金	967	967	・	・	・	・
合 計	43,171,164	32,284,964	3,701,207	1,982,154	5,165,383	37,456

注 1. 新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金」に計上している。新法退職共済年金についても同様。（表 3 において同じ。）

2. 人数の合計は、厚生年金保険と同一の年金種別の基礎年金を併給している者の重複分を控除した数である。

3. 「基礎あり」は、同一の年金種別の基礎年金の受給権を有する者をいう。

4. 「基礎のみ」は、同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。

5. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、第 1 号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法拠出制に計上している。（表 3 において同じ。）

○ 平成26年8月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者の年金総額は、46兆3千億円であり、前年同月に比べて、3千億円（0.6％）減少している。

表3 制度別受給者年金総額

（単位：百万円）

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	25,522,101	17,679,083	2,367,110	295,259	5,170,924	9,726
厚生年金基金代行分除く	23,789,136	16,068,565	2,244,663	295,259	5,170,924	9,726
旧共済組合を除く	24,812,544	17,131,744	2,345,077	291,169	5,035,047	9,506
旧 法	1,996,547	1,261,218	227,283	55,204	443,528	9,314
厚生年金基金代行分除く	1,973,904	1,242,519	223,340	55,204	443,528	9,314
新 法	22,739,699	15,822,501	2,116,756	232,948	4,567,494	・
(別掲) 基礎年金	14,155,955	7,732,446	6,160,897	191,920	70,692	・
厚生年金基金代行分除く	21,029,376	14,230,683	1,998,252	232,948	4,567,494	・
船員保険 (旧法)	76,298	48,025	1,038	3,018	24,026	192
旧共済組合計	709,558	547,339	22,033	4,090	135,877	219
旧 法	381,418	332,851	2,716	2,611	43,020	219
新 法	328,140	214,488	19,317	1,478	92,857	・
(別掲) 基礎年金	185,556	128,412	55,517	1,540	88	・
国民年金 計	20,824,553	18,997,194	168,396	1,564,686	94,278	・
旧法拠出制	785,987	554,853	168,396	55,774	6,964	・
新法基礎年金	20,038,566	18,442,341	・	1,508,912	87,314	・
(再掲) 基礎のみ	5,409,416	4,087,946	・	1,296,549	24,921	・
福祉年金	383	383	・	・	・	・
合 計	46,347,037	36,676,659	2,535,506	1,859,945	5,265,201	9,726

注1. 年金総額には一部停止額を含む。

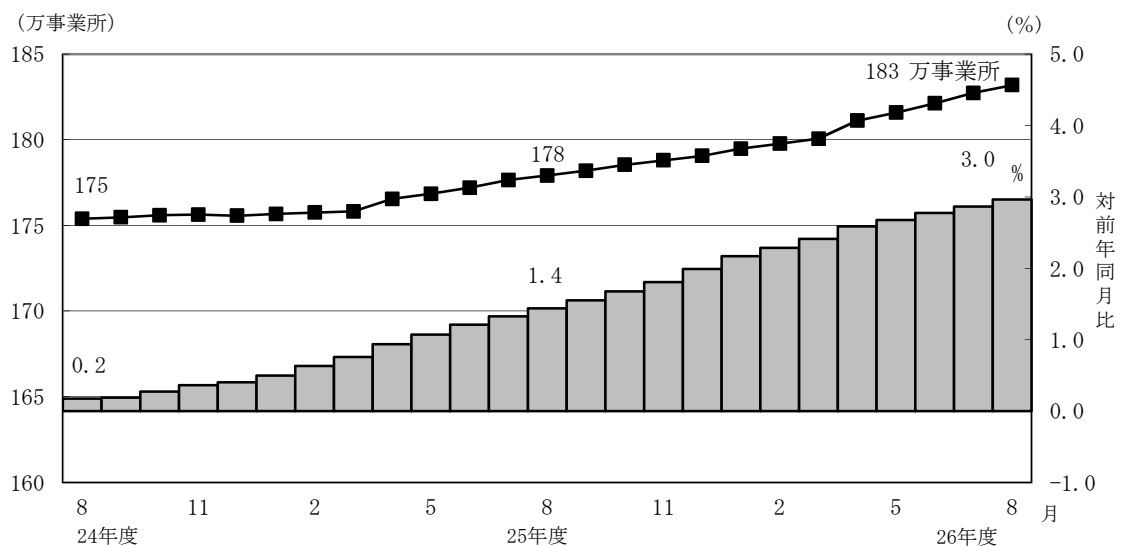
2. 「基礎のみ」は同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者の年金総額である。

2. 厚生年金保険

(1) 適用状況

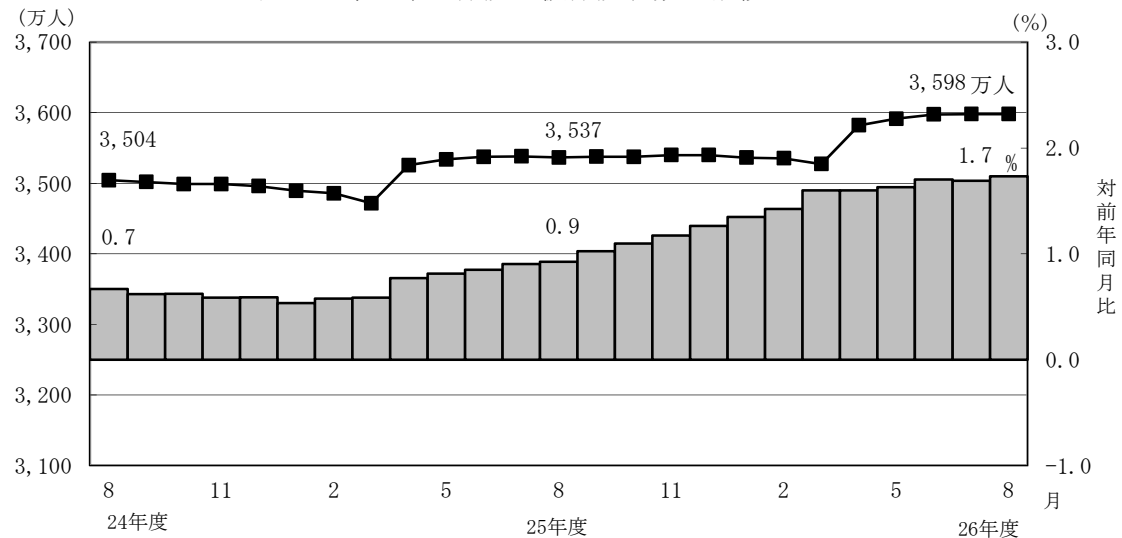
○ 平成26年8月末の厚生年金保険の適用事業所数は183万事業所であり、前年同月に比べて5万事業所（3.0％）増加している。

図1 厚生年金保険 適用事業所数の推移



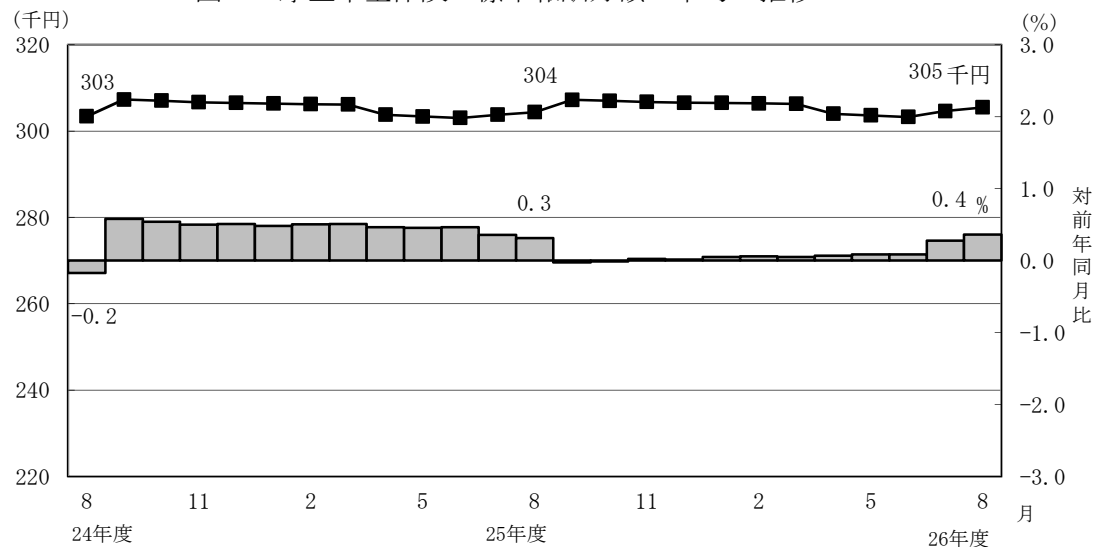
- 厚生年金保険の被保険者数は3,598万人となっており、前年同月に比べて61万人（1.7%）増加している。内訳をみると、一般男子が2,289万人（対前年同月比33万人、1.4%増）、女子が1,304万人（対前年同月比29万人、2.2%増）、坑内員が6百人（対前年同月比3人、0.5%増）、船員が5万人（対前年同月比2百人、0.3%減）である。

図2 厚生年金保険 被保険者数の推移



- 標準報酬月額平均は、30万5,455円となっており、前年同月に比べて0.4%増加している。内訳をみると、一般男子は34万6,444円（対前年同月比0.3%増）、女子は23万3,161円（対前年同月比0.8%増）、坑内員は33万8,953円（対前年同月比0.2%増）、船員が38万2,078円（対前年同月比1.2%増）である。

図3 厚生年金保険 標準報酬月額の平均の推移

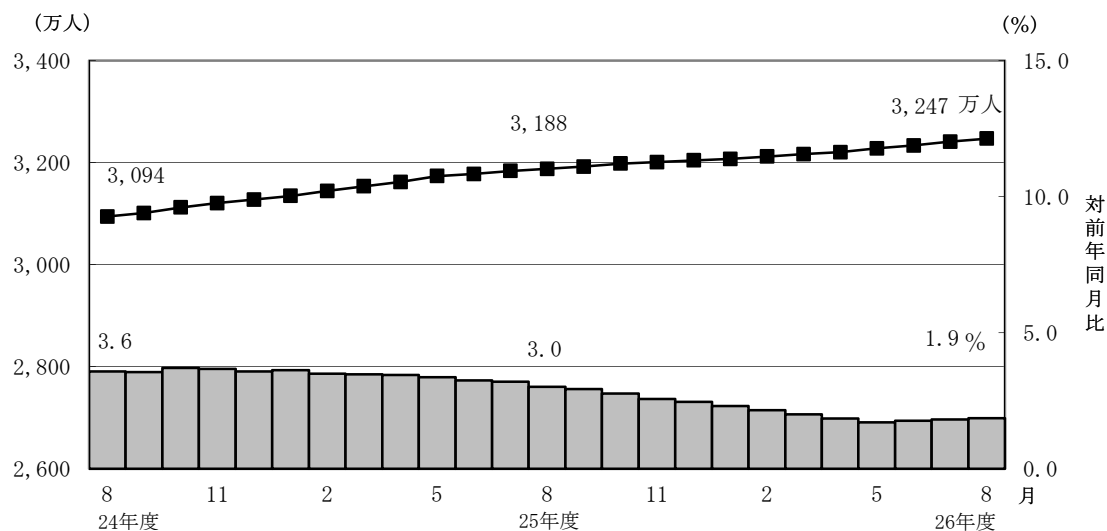


- 賞与支給事業所数は22万事業所、賞与支給被保険者数は293万人、標準賞与額の平均は23万5,300円となっている。

（２）給付状況

- 平成26年8月末の厚生年金保険受給者数は3,247万人（旧法厚年分186万人、新法厚年分3,005万人、旧法船保分4万人、旧共済分53万人）で、前年同月に比べて59万人（1.9%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,689万人（旧法厚年分134万人、新法厚年分2,512万人、旧法船保分2万人、旧共済分41万人）で、前年同月に比べて49万人（1.8%）増加している。
- 障害給付の受給者数は40万人（旧法厚年分5万人、新法厚年分35万人、旧法船保分1千人、旧共済分4千人）で、前年同月に比べて5千人（1.4%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は518万人（旧法厚年分47万人、新法厚年分458万人、旧法船保分2万人、旧共済分12万人）で、前年同月に比べて10万人（2.0%）増加している。

図４ 厚生年金保険受給者数の推移



- 平成26年8月末の老齢年金受給者の平均年金月額は、14万7,508円となっている。老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、8万1,708円である。

- 平成26年8月末における失業給付との調整に該当する受給権者数は7万人、高年齢雇用継続給付との併給調整に該当する受給権者数は31万人となっている。

表4 雇用保険の給付と老齢厚生年金との調整

		失 業 給 付								
		件数（人）			総停止年金額（千円）			平均停止月額（円）		
		計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 26 年	3 月	58,449	42,179	16,270	38,385,883	34,929,369	3,456,514	54,728	69,010	17,704
	4 月	56,069	39,848	16,221	35,740,183	32,308,398	3,431,784	53,119	67,566	17,630
	5 月	66,151	47,087	19,064	42,103,885	38,068,281	4,035,604	53,040	67,372	17,641
	6 月	69,441	49,258	20,183	44,108,652	39,864,397	4,244,255	52,933	67,441	17,524
	7 月	70,020	49,349	20,671	44,523,612	40,188,904	4,334,708	52,989	67,865	17,475
	8 月	69,800	49,482	20,318	45,112,676	40,829,315	4,283,361	53,859	68,761	17,568

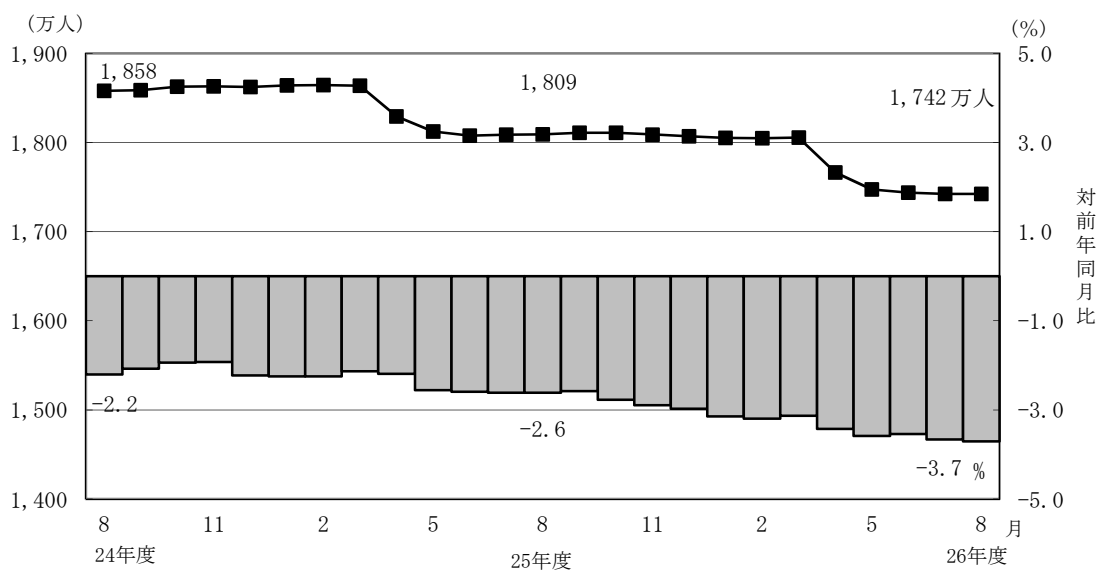
		高 年 齢 雇 用 継 続 給 付								
		件数（人）			高年齢雇用継続給付による停止総額（千円）			平均停止月額（円）		
		計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 26年	3 月	339,570	329,945	9,625	43,145,970	42,257,765	888,204	10,588	10,673	7,690
	4 月	329,366	319,932	9,434	41,753,441	40,879,454	873,987	10,564	10,648	7,720
	5 月	314,226	305,008	9,218	39,754,074	38,909,438	844,635	10,543	10,631	7,636
	6 月	308,991	299,814	9,177	39,122,084	38,279,324	842,760	10,551	10,640	7,653
	7 月	310,321	301,049	9,272	39,296,239	38,429,270	866,969	10,553	10,638	7,792
	8 月	309,100	299,632	9,468	39,059,867	38,175,504	884,363	10,531	10,617	7,784

3. 国民年金

(1) 適用状況

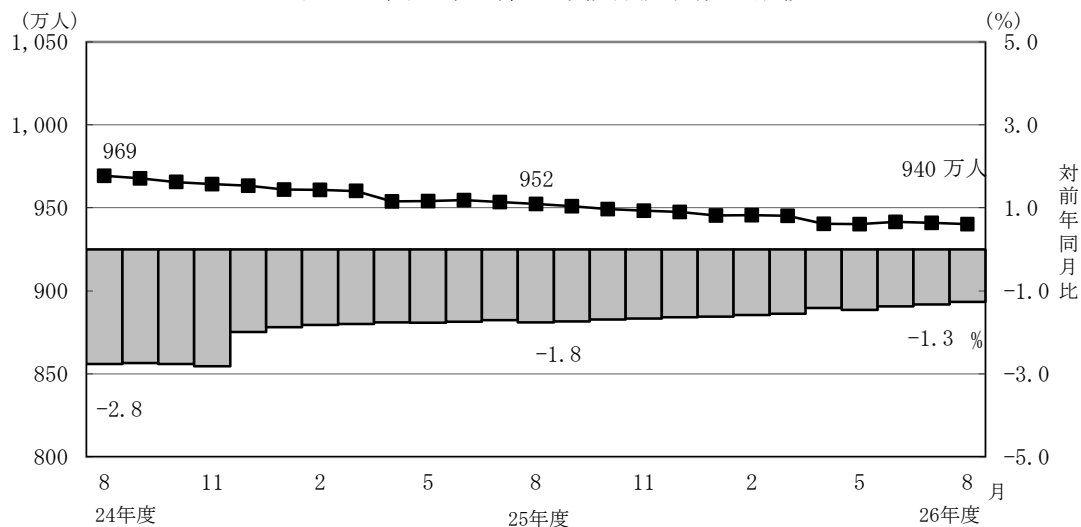
- 平成26年8月末の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む。）は、1,742万人となっており、前年同月に比べて67万人（3.7%）減少している。内訳をみると、男子は894万人（対前年同月比33万人、3.5%減）、女子は848万人（対前年同月比34万人、3.9%減）である。

図5 国民年金第1号被保険者数（任意加入を含む）の推移



- 第3号被保険者数は940万人となっており、前年同月に比べて12万人（1.3%）減少している。内訳をみると、男子は11万人（対前年同月比1千人、1.1%減）、女子は929万人（対前年同月比12万人、1.3%減）となっている。

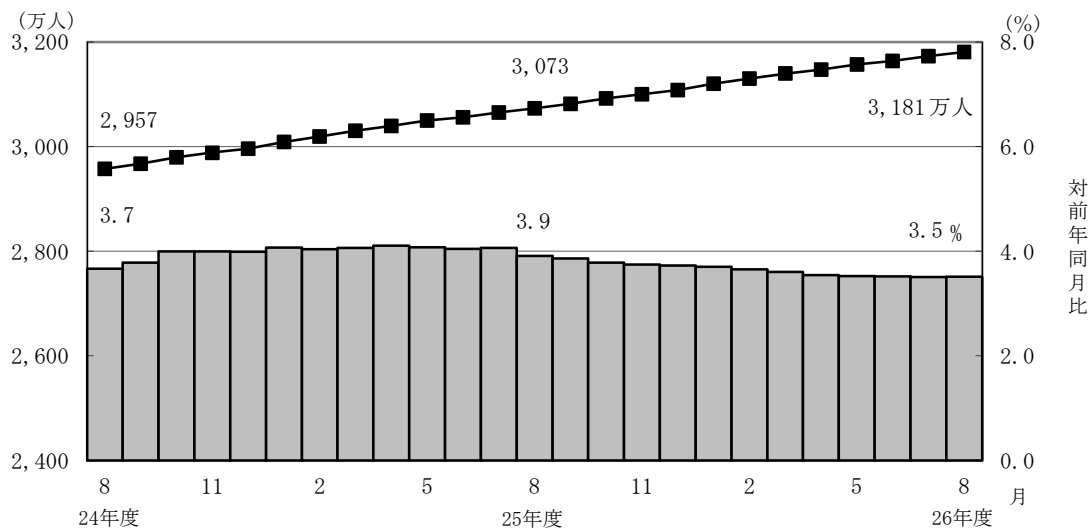
図6 国民年金第3号被保険者数の推移



(2) 給付状況

- 平成26年8月末の国民年金受給者数は3,181万人（旧法拠出制200万人、基礎年金2,981万人）で、前年同月に比べて108万人（3.5%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,990万人（旧法拠出制192万人、基礎年金2,798万人）で、前年同月に比べて106万人（3.7%）増加している。
- 障害給付の受給者数は181万人（旧法拠出制6万人、基礎年金175万人）で、前年同月に比べて3万人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は10万人（旧法拠出制2万人、基礎年金8万人）で、前年同月に比べて4千人（4.1%）減少している。

図7 国民年金受給者数の推移



- 国民年金の老齢年金受給者の平均年金月額は、平成26年8月末で5万4,334円となっている。

老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、5万641円となっている。

- 旧法老齢年金受給権者及び厚生年金の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者について繰上げ受給の状況をみると、8月は新規裁定者1万4千人のうち繰上げ受給権者が2千人となっており、繰上げ受給率は12.6%である。なお、平成25年度新規裁定者の繰上げ受給率は14.4%となっている。